

ほしみる

No.70 2019.3.30

プラネタリウムのあゆみ③～ハイブリッド式投映機～

プラネタリウム投映機について、3回に渡って紹介してきました。最後のテーマは「ハイブリッド式投映機」です。新年度に当館に新しく入る機器について、くわしく紹介していきます！

「ハイブリッド式」とは？

「光学式投映機」と「デジタル式投映機」を両方設置し、それぞれの投映機を同時に、もしくは別々に使用して星空を映し出します。本物に近い美しい星空を映し出すことが得意な「光学式」と、番組や宇宙のCGなど自由な映像表現が得意な「デジタル式」の両方の良い所を生かすことが可能です。一方、複数の投映機を使うので操作が複雑になってしまうことと、コストが高くなってしまふことが欠点です。

超小型光学式投映機 オルフェウス

中央には光学式投映機が設置されます。

当館のような12m直径のプラネタリウムドームで使用される光学式投映機では世界最小クラスとなり、恒星球（恒星投映機）のほかに惑星投映機を搭載しています。

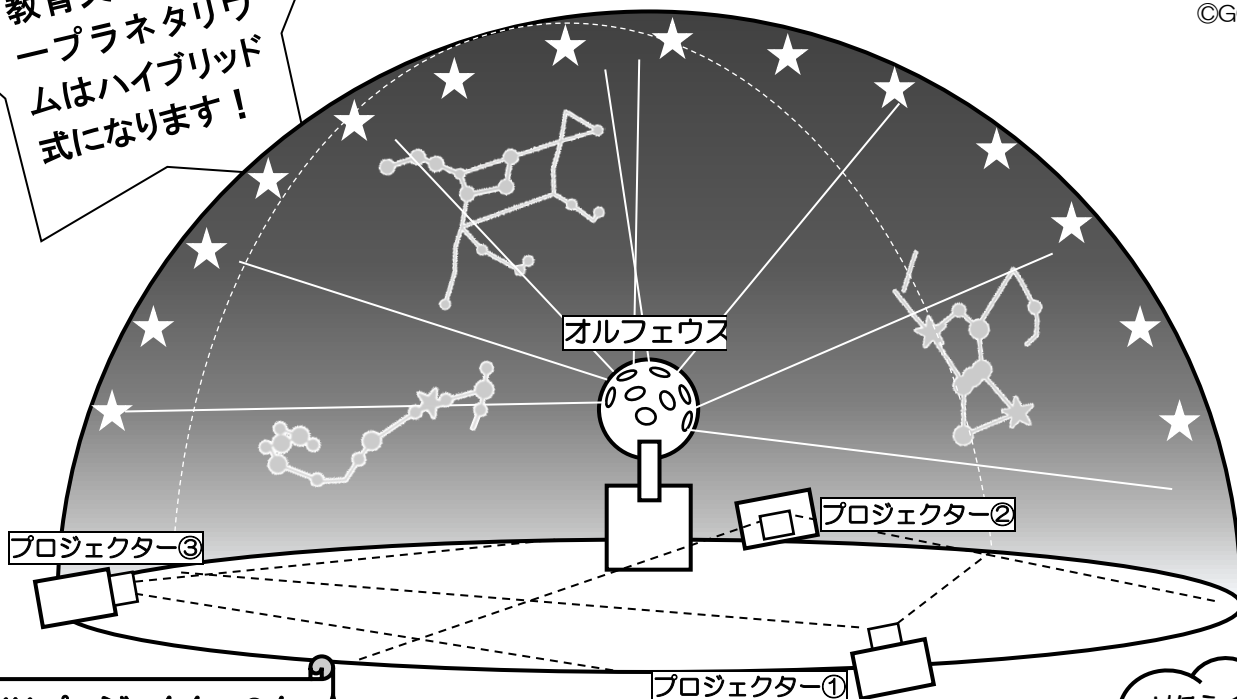
9,500個の恒星と、800万個の星で表現される天の川を映し出すことが可能です。

惑星投映機



©GOTO

4月27日(土)、
教育文化センター
プラネタリウムはハイブリッド
式になります！



4Kプロジェクター3台 (デジタル式投映機)

周辺には4Kのレーザー光源プロジェクター3台が設置されます。

優れた画像で番組や宇宙映像のほか、星座絵や季節の星座の目印を投映し、天文現象の再現も可能です。

光学式とデジタル式を連動させることで、美しい星空と映像表現を両立します。

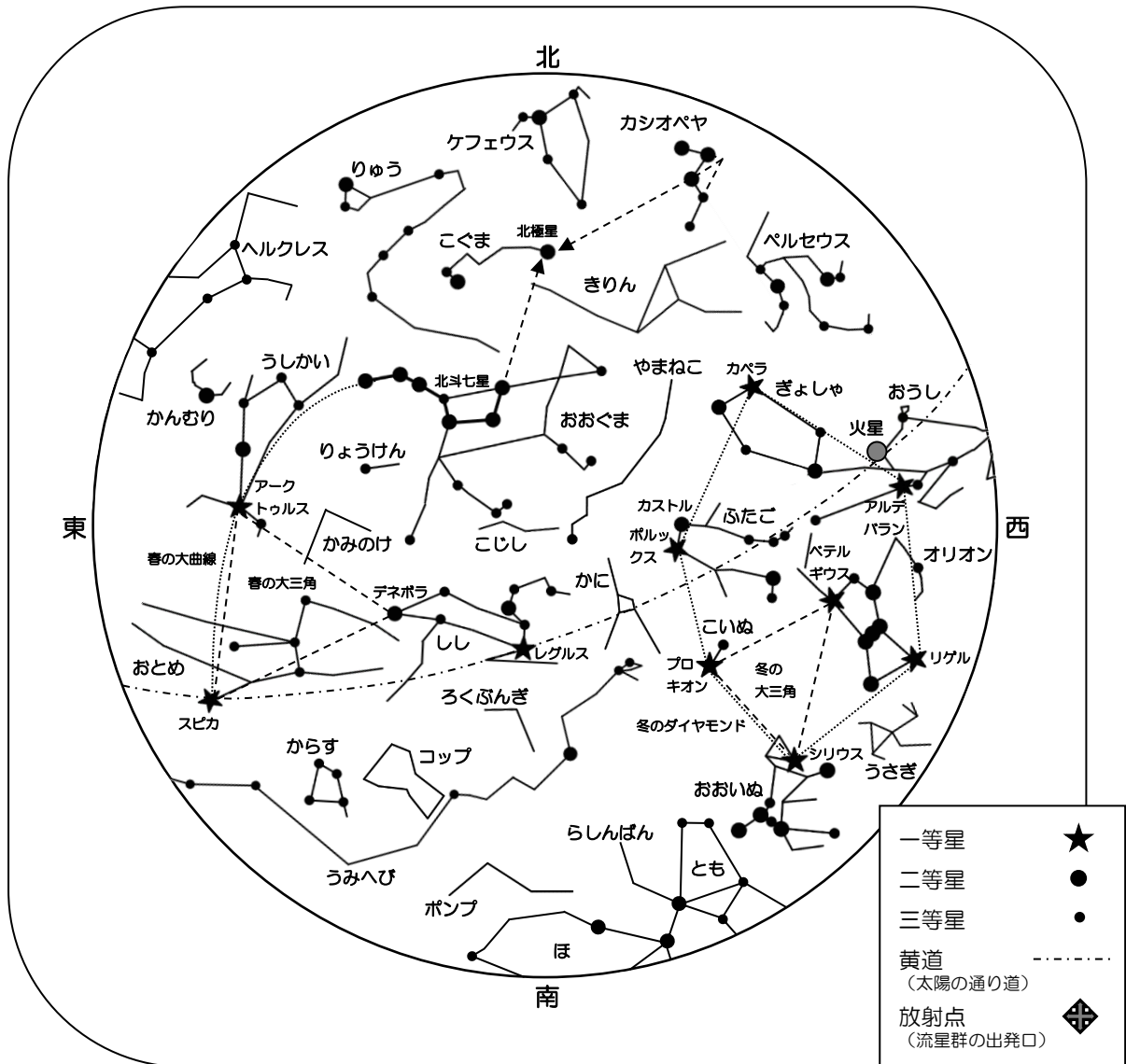


リクライニングシートも快適で使いやすくなります。



季節の星空

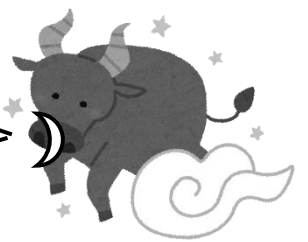
4月15日20時頃の松本の星空



4月の主な天文情報

- 2(火) 細い月と金星が接近(日の出直前)
- 5(金) 新月
はやぶさ2がリュウグウにクレーターを生成(予定)
- 9(火) 細い月と火星が接近(日没後~21時30分頃)
ヒヤデス星団が食(20時~21時30分頃)
- 12(金) 水星が西方最大離角(日の出直前)
- 19(金) 満月
- 23(火) こと座流星群が極大(9時頃、出現期間16日~25日)
月と木星が大接近(23時頃~日の出前)
- 26(金) 月と土星が大接近(0時30分頃~日の出前)

ヒヤデス星団は、おうし座の顔にある星の集まりです。9日に起こる、星が月に隠される現象を「食」と言います。



西方最大離角→地球から見て、太陽から最も西へ離れる角度。地上からは、日の出直前の東の空高い位置で内惑星が見える。

極大→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合、最も多く流星が現れる。

松本市教育文化センター
〒390-0221 松本市里山辺 2930-1
TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604
E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp